

内航海運における輸送動向調査結果について[2019.3]

内航海運の貨物船・油送船の主要元請オペレータ 60 社における輸送量（内航輸送量全体の 80%以上を占める）について、毎月末に調査を行っている。

2019 年 3 月末の調査結果は以下の通りとなった。

貨物船の概要

2019 年 3 月（実績値）における貨物船の輸送量は、20,417 千トンで前年同月比 104%、前月比で 108%となっている。

前月に続いて好天が続いた為、順調な輸送が見られた。

輸送主要品目別に前年同月比を見ると、

鉄鋼は 107%。陸側の設備にトラブルがなく、出荷は順調で輸送は活況を呈した。

原料は 106%。石灰石やスラグの輸送は順調に推移した。

燃料は 82%。石炭専用船の入渠があり輸送量が大きく減少した。

紙・パルプは 103%。前月に続いて製紙工場の休転前の送り込みから輸送は増加した。

雑貨は 110%。前月同様、北海道の雑貨関連（建築資材や農産物等）は低調、トラックドライバー不足による陸運から海運へのシフトもあり増加した。

沖縄航路は観光客増加に伴う消費財の増加やホテルや大型 S.C の建設案件があり、建設資材や部材の輸送も見られている。

自動車は 104%。年度末の自動車販売の決算期もあり輸送量は増加した。

セメントは 102%。引き続き、好天に支えられ順調な送り込みとなった。

油送船の概要

2019年3月（実績値）における油送船の輸送量は、9,879千kl・千トンで前年同月比94%、前月比で101%となっている。引き続き、全国的に気温が高温で推移したこともあり、電力並びに灯油等の需要が減少、輸送は前年水準を割り込んだ。また、3月末に室蘭製造所が閉鎖となったため輸送に影響が表れている。

黒油は76%。前年よりも時化による避難や荷役中止等の輸送障害は見られなかったが、暖冬による電力需要の減少、他電源へのシフト、製油所間転送の減少が下押し要因となった。

また、室蘭製造所が3月末で閉鎖したことも減少の一因となった。

白油（ガソリン・灯油・軽油）は101%。暖冬もあって灯油の需要は終息した。

ガソリン、軽油は若干動いた一方、時化の影響をかなり受けた前年と同様の輸送量となっはいるが、前年の時化による不稼働の状況を鑑みれば、プラスにはなっているがかなりの落ち込みである。

ケミカルは104%。前年は工場の定修が2ヶ所あった一方、本年は全プラントが稼働していたため前年比では増加となった。

キシレン以外は需要の減少傾向が見られている。

高压液化は97%。エチレンは大きく増加している一方、高压液化の大部分を占めるLPGが一部の大口需要家向け需要や基地間転送の減少が見られたため全体を押し下げた。

高温液体は101%。アスファルトは、需要家への輸送及び製油所間転送が減少したが、硫黄やその他の高温液体が増加したため全体としては微増となった。

耐腐食は100%。硫酸は内需向けの肥料用、工業用ともに減少となったため輸送量も大きく減少した。

一方で、苛性ソーダとその他の耐腐食液体は増加が見られた結果、耐腐食全体では前年並みとなった。

◆2018年度のオペ60社輸送実績について

2018年度の年間輸送量は貨物船については、鉄鋼、雑貨、自動車、セメントが前年度比増加した。原料、燃料、紙・パルプは減少した。

油送船については、ケミカル、耐腐食が前年度比増加した。黒油、白油、高圧液化、高温液体は減少となった。

自然災害（大阪北部地震、西日本豪雨、頻発した強力な台風、北海道胆振東部地震）により工場の生産・出荷の停止等に伴う輸送活動の停滞が見られた一方で、JR貨物の代替輸送が秋頃まで継続した。

年後半以降は徐々に回復の兆しが見られ、年明けから3月にかけての天候が前年に比べ好天となったため、下期においては前年同期を上回る輸送量となった。

鉄鋼は、前年に頻発した製鉄所のトラブルの解消が進んだことで、年後半から輸送は旺盛となった。セメントは東京五輪、再開発案件等により需要の高まりが見られた。

雑貨は、RORO船の新航路の開設や大型船へのリプレイス、トラックのドライバー不足から船への輸送需要も見られ前年を上回る荷動きとなった。また、コンテナについては、西日本豪雨で発生した瓦礫の輸送が見られた。

自動車は前年が自動車メーカーの検査不備等による出荷停止の影響から反動増となった上にモデルチェンジ車や新型車の投入による販売の回復から増加した。

一方で、燃料関係については、原子力発電所の再稼働の進展や再生エネルギー等その他の電源へ電力需要がシフトしたため、黒油や石炭の輸送量減少は顕著となった。

白油は暖冬の影響や高燃費性能の自動車の普及、原油高もあってガソリン消費の落ち込みが影響した。ケミカルはエチレンプラントの高稼働を受け増加が続いた。

【貨物船】内航輸送主要元請才ペ(2019年3月分)輸送実績推移表

単位:千トン

分類	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~3月累計
	回答社数	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
鉄鋼 16社	当年	4,020	3,776	3,652	3,643	3,370	3,249	3,973	3,901	3,855	3,943	3,713	4,032	45,128
	前年	3,562	3,879	3,561	3,584	3,386	3,478	3,250	3,821	3,817	3,562	3,587	3,769	43,256
	前年対比	1.13	0.97	1.03	1.02	1.00	0.93	1.22	1.02	1.01	1.11	1.04	1.07	1.04
	(前月比)	—	(0.94)	(0.97)	(1.00)	(0.93)	(0.96)	(1.22)	(0.98)	(0.99)	(1.02)	(0.94)	(1.09)	—
原料 (石灰石、スラグ等) 22社	当年	4,530	4,629	4,542	4,487	4,648	4,666	4,829	4,851	4,878	4,416	4,488	4,985	55,950
	前年	4,328	4,765	4,834	4,999	4,846	4,784	4,708	4,875	5,094	4,623	4,439	4,713	57,010
	前年対比	1.05	0.97	0.94	0.90	0.96	0.98	1.03	1.00	0.96	0.96	1.01	1.06	0.98
	(前月比)	—	(1.02)	(0.98)	(0.99)	(1.04)	(1.00)	(1.03)	(1.00)	(1.01)	(0.91)	(1.02)	(1.11)	—
燃料 (石炭、コークス) 14社	当年	1,144	1,208	1,151	1,060	1,089	1,071	1,249	1,234	1,228	1,287	1,413	1,229	14,363
	前年	1,071	1,029	1,280	1,320	1,400	1,334	1,293	1,406	1,309	1,132	1,121	1,502	15,198
	前年対比	1.07	1.17	0.90	0.80	0.78	0.80	0.97	0.88	0.94	1.14	1.26	0.82	0.95
	(前月比)	—	(1.06)	(0.95)	(0.92)	(1.03)	(0.98)	(1.17)	(0.99)	(1.00)	(1.05)	(1.10)	(0.87)	—
紙・パルプ 10社	当年	205	194	219	190	188	182	214	218	201	199	197	223	2,432
	前年	217	204	214	201	201	195	194	226	209	192	181	217	2,450
	前年対比	0.95	0.95	1.02	0.94	0.94	0.94	1.10	0.96	0.96	1.04	1.09	1.03	0.99
	(前月比)	—	(0.95)	(1.13)	(0.87)	(0.99)	(0.97)	(1.18)	(1.02)	(0.92)	(0.99)	(0.99)	(1.13)	—
雑貨 (一般雑貨、コンテナ等) 22社	当年	2,339	2,034	2,178	2,246	1,938	2,162	2,398	2,364	2,195	1,993	2,280	2,389	26,515
	前年	1,942	2,018	2,141	2,204	1,996	2,125	2,133	2,430	2,204	1,943	1,990	2,178	25,304
	前年対比	1.20	1.01	1.02	1.02	0.97	1.02	1.12	0.97	1.00	1.03	1.15	1.10	1.05
	(前月比)	—	(0.87)	(1.07)	(1.03)	(0.86)	(1.12)	(1.11)	(0.99)	(0.93)	(0.91)	(1.14)	(1.05)	—
自動車 12社	当年	4,274	3,476	4,114	4,036	3,282	4,126	4,438	4,267	3,994	3,805	4,288	5,070	49,168
	前年	4,157	3,474	4,323	4,237	3,203	4,228	3,862	4,034	3,859	3,632	4,407	4,878	48,294
	前年対比	1.03	1.00	0.95	0.95	1.02	0.98	1.15	1.06	1.03	1.05	0.97	1.04	1.02
	(前月比)	—	(0.81)	(1.18)	(0.98)	(0.81)	(1.26)	(1.08)	(0.96)	(0.94)	(0.95)	(1.13)	(1.18)	—
セメント 12社	当年	2,308	2,469	2,520	2,580	2,494	2,559	2,717	2,788	2,811	2,366	2,452	2,490	30,554
	前年	2,171	2,352	2,527	2,682	2,423	2,482	2,494	2,780	2,711	2,265	2,325	2,434	29,646
	前年対比	1.06	1.05	1.00	0.96	1.03	1.03	1.09	1.00	1.04	1.04	1.05	1.02	1.03
	(前月比)	—	(1.07)	(1.02)	(1.02)	(0.97)	(1.03)	(1.06)	(1.03)	(1.01)	(0.84)	(1.04)	(1.02)	—
貨物船 合計 40社	当年	18,821	17,786	18,376	18,242	17,009	18,015	19,818	19,623	19,162	18,010	18,831	20,417	224,109
	前年	17,449	17,721	18,881	19,228	17,454	18,625	17,934	19,573	19,203	17,350	18,049	19,691	221,158
	前年対比	1.08	1.00	0.97	0.95	0.97	0.97	1.11	1.00	1.00	1.04	1.04	1.04	1.01
	(前月比)	—	(0.95)	(1.03)	(0.99)	(0.93)	(1.06)	(1.10)	(0.99)	(0.98)	(0.94)	(1.05)	(1.08)	—

※ 2017(平成29)年4月実績より対象事業者を追加した。それに伴い、2017年3月以前の「雑貨」、「自動車」及び「合計」値が変更となっている。

【油送船】内航輸送主要元請オペ(2019年3月分)輸送実績推移表

単位:千KL・千トン

分類	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4~3月累計
	回答社数	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
黒油 15社	当年	2,276	2,276	2,179	2,512	2,418	2,265	2,432	2,463	2,317	2,183	2,120	2,004	27,445
	前年	2,654	2,263	2,205	2,518	2,376	2,322	2,313	2,511	2,910	2,807	2,815	2,641	30,335
	前年対比	0.86	1.01	0.99	1.00	1.02	0.98	1.05	0.98	0.80	0.78	0.75	0.76	0.90
	(前月比)	—	(1.00)	(0.96)	(1.15)	(0.96)	(0.94)	(1.07)	(1.01)	(0.94)	(0.94)	(0.97)	(0.95)	—
白油 14社	当年	5,643	5,854	5,564	5,550	5,804	5,511	5,990	5,772	6,165	6,209	5,836	5,987	69,886
	前年	5,652	5,915	5,686	5,941	5,953	5,654	5,850	6,337	6,572	6,208	5,822	5,951	71,542
	前年対比	1.00	0.99	0.98	0.93	0.98	0.97	1.02	0.91	0.94	1.00	1.00	1.01	0.98
	(前月比)	—	(1.04)	(0.95)	(1.00)	(1.05)	(0.95)	(1.09)	(0.96)	(1.07)	(1.01)	(0.94)	(1.03)	—
ケミカル 13社	当年	748	764	685	785	784	691	743	758	741	800	729	749	8,979
	前年	712	715	676	717	723	704	667	719	760	759	683	723	8,558
	前年対比	1.05	1.07	1.01	1.10	1.09	0.98	1.11	1.05	0.98	1.05	1.07	1.04	1.05
	(前月比)	—	(1.02)	(0.90)	(1.15)	(1.00)	(0.88)	(1.07)	(1.02)	(0.98)	(1.08)	(0.91)	(1.03)	—
高压液化 (LPG、塩ビモノマー等) 13社	当年	583	588	502	532	537	505	550	585	647	659	590	563	6,840
	前年	614	544	511	600	592	542	562	609	665	657	520	579	6,995
	前年対比	0.95	1.08	0.98	0.89	0.91	0.93	0.98	0.96	0.97	1.00	1.13	0.97	0.98
	(前月比)	—	(1.01)	(0.86)	(1.06)	(1.01)	(0.94)	(1.09)	(1.06)	(1.11)	(1.02)	(0.89)	(0.95)	—
高温液体 (アスファルト、硫黄等) 7社	当年	97	116	87	114	105	110	104	94	113	110	122	119	1,291
	前年	90	118	121	122	113	103	105	120	127	97	81	118	1,316
	前年対比	1.07	0.99	0.72	0.94	0.93	1.06	0.98	0.78	0.88	1.13	1.50	1.01	0.98
	(前月比)	—	(1.20)	(0.75)	(1.31)	(0.92)	(1.04)	(0.95)	(0.91)	(1.20)	(0.97)	(1.11)	(0.97)	—
耐腐食 (硫酸、苛性ソーダ等) 13社	当年	435	395	404	431	428	419	468	427	463	459	429	458	5,216
	前年	407	403	384	446	442	402	413	454	462	454	430	456	5,152
	前年対比	1.07	0.98	1.05	0.97	0.97	1.04	1.13	0.94	1.00	1.01	1.00	1.00	1.01
	(前月比)	—	(0.91)	(1.02)	(1.07)	(0.99)	(0.98)	(1.12)	(0.91)	(1.09)	(0.99)	(0.93)	(1.07)	—
油送船 合計 28社	当年	9,781	9,993	9,422	9,926	10,076	9,501	10,286	10,099	10,446	10,421	9,826	9,879	119,656
	前年	10,130	9,958	9,582	10,343	10,198	9,728	9,910	10,750	11,497	10,982	10,352	10,468	123,898
	前年対比	0.97	1.00	0.98	0.96	0.99	0.98	1.04	0.94	0.91	0.95	0.95	0.94	0.97
	(前月比)	—	(1.02)	(0.94)	(1.05)	(1.02)	(0.94)	(1.08)	(0.98)	(1.03)	(1.00)	(0.94)	(1.01)	—

2018年 内航輸送主要元請オペ 輸送実績推移表<前年同期対比>

単位:千トン

単位:千KL・千トン

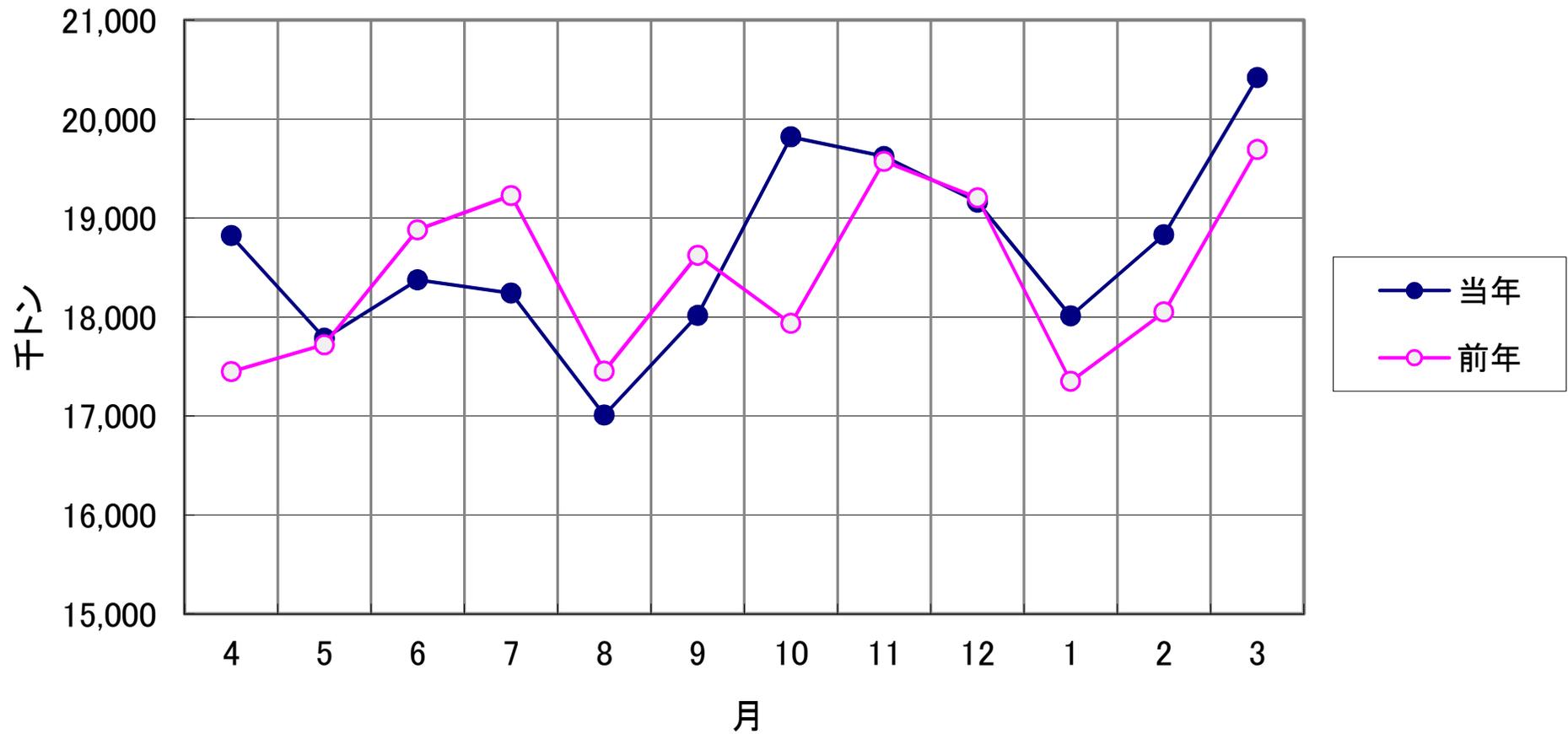
分類		上期 4月～9月	下期 10月～3月	合計
鉄鋼	2018年度	21,711	23,417	45,128
	2017年度	21,451	21,805	43,256
	前年対比	1.01	1.07	1.04
原料 (石灰石等)	2018年度	27,502	28,448	55,950
	2017年度	28,556	28,454	57,010
	前年対比	0.96	1.00	0.98
燃料 (石炭 ・コークス)	2018年度	6,723	7,640	14,363
	2017年度	7,435	7,763	15,198
	前年対比	0.90	0.98	0.95
紙・パルプ	2018年度	1,179	1,253	2,432
	2017年度	1,231	1,219	2,450
	前年対比	0.96	1.03	0.99
雑貨	2018年度	12,897	13,618	26,515
	2017年度	12,426	12,879	25,304
	前年対比	1.04	1.06	1.05
自動車	2018年度	23,307	25,861	49,168
	2017年度	23,622	24,672	48,294
	前年対比	0.99	1.05	1.02
セメント	2018年度	14,930	15,624	30,554
	2017年度	14,637	15,009	29,646
	前年対比	1.02	1.04	1.03
貨物船計	2018年度	108,249	115,860	224,109
	2017年度	109,358	111,800	221,158
	前年対比	0.99	1.04	1.01

分類		上期 4月～9月	下期 10月～3月	合計
黒油	2018年度	13,926	13,519	27,445
	2017年度	14,338	15,997	30,335
	前年対比	0.97	0.85	0.90
白油	2018年度	33,926	35,960	69,886
	2017年度	34,802	36,741	71,542
	前年対比	0.97	0.98	0.98
ケミカル	2018年度	4,458	4,521	8,979
	2017年度	4,246	4,312	8,558
	前年対比	1.05	1.05	1.05
高压液化	2018年度	3,246	3,594	6,840
	2017年度	3,403	3,592	6,995
	前年対比	0.95	1.00	0.98
高温液体	2018年度	629	661	1,291
	2017年度	667	649	1,316
	前年対比	0.94	1.02	0.98
耐腐食	2018年度	2,513	2,703	5,216
	2017年度	2,483	2,669	5,152
	前年対比	1.01	1.01	1.01
油送船計	2018年度	58,698	60,958	119,656
	2017年度	59,939	63,959	123,898
	前年対比	0.98	0.95	0.97

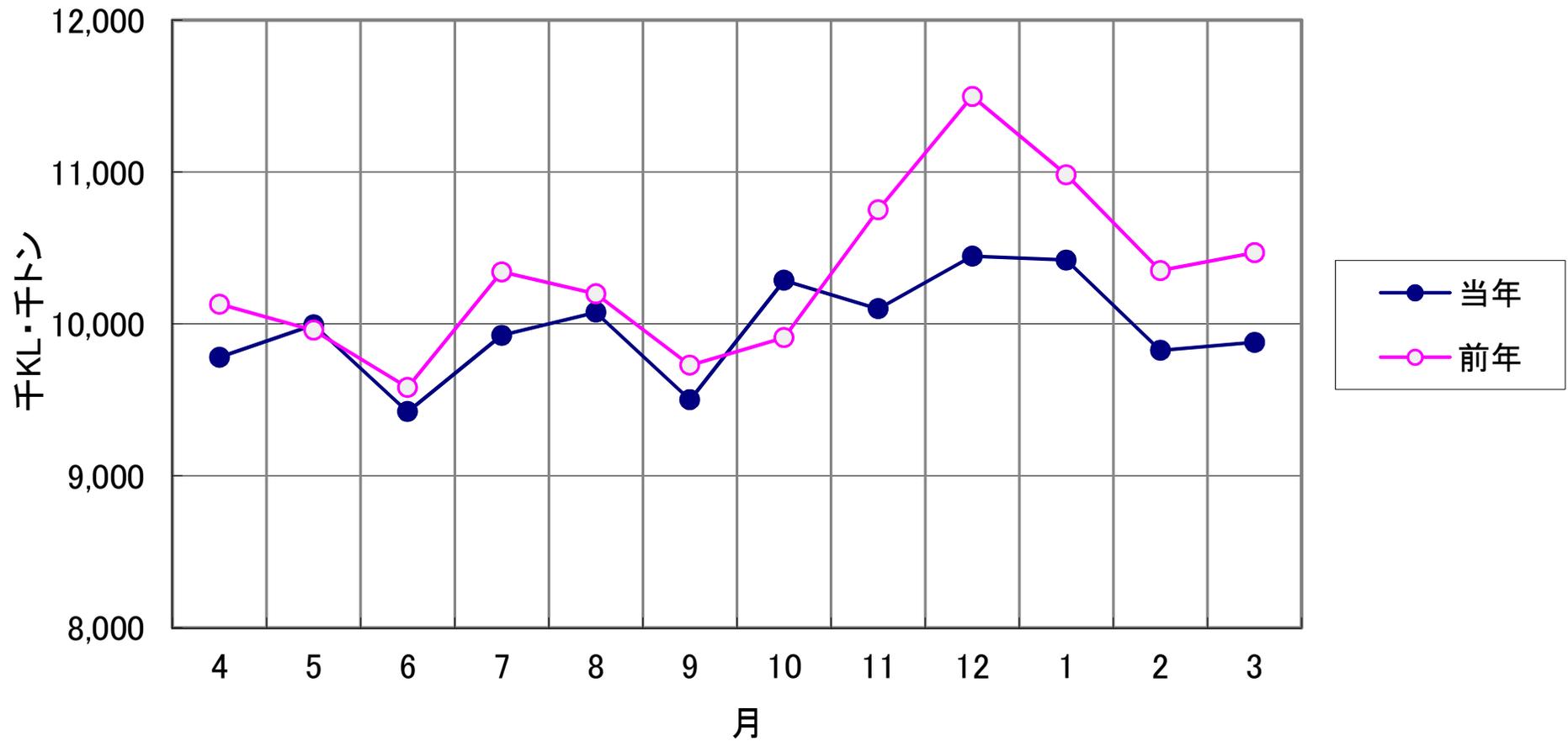
※2017(平成29)年4月実績より対象事業者を追加。それに伴い「雑貨」「自動車」「合計」数量を訂正。

※2017(平成29)年実績について、「原料」、「燃料」、「雑貨」「セメント」「合計」数量を訂正している為、前年度発表数量とは異なる。

内航輸送主要元請オペ【貨物船】 輸送実績の推移



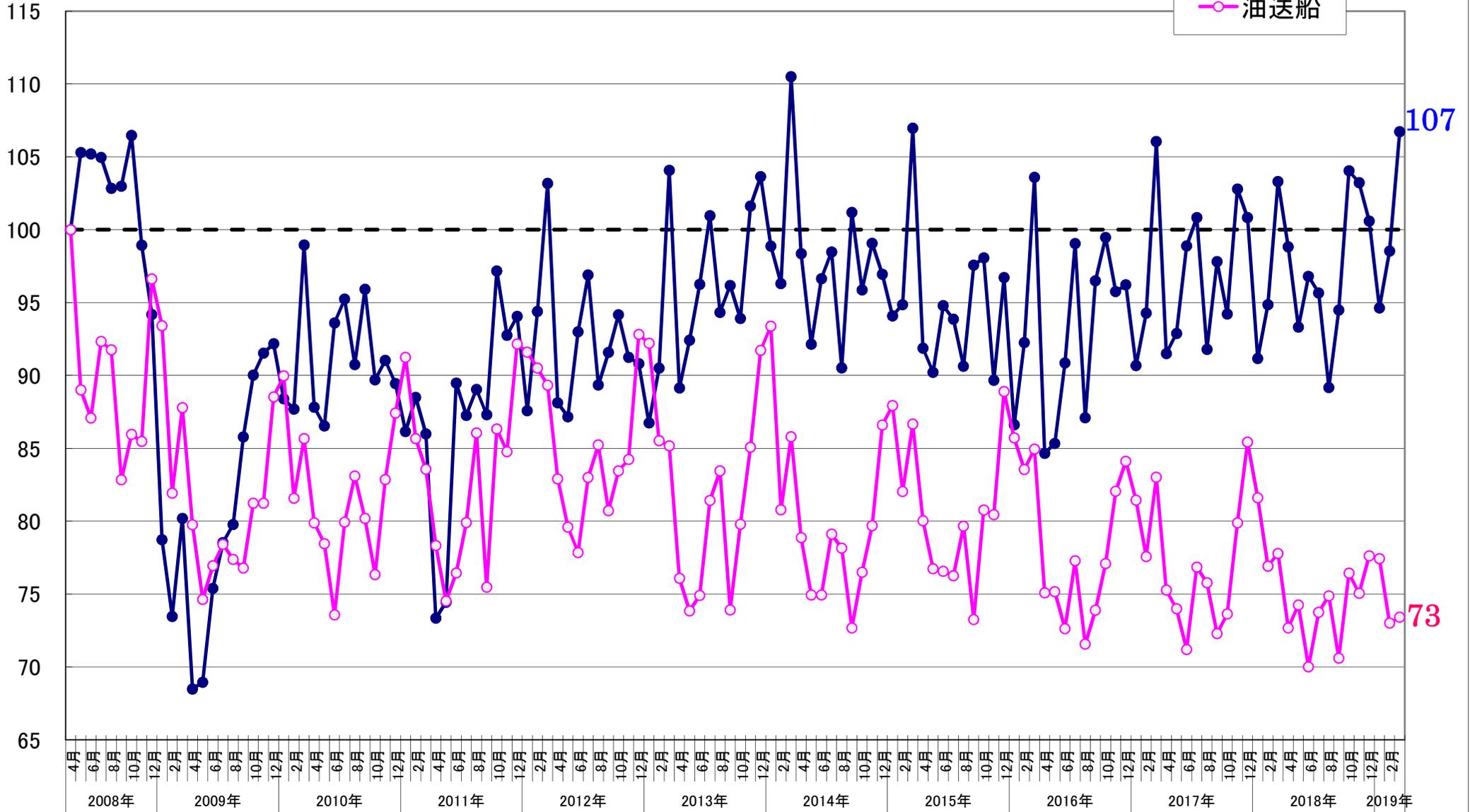
内航輸送主要元請オペ【油送船】 輸送実績の推移



指数
2008年4月=100

輸送実績の推移<輸送量> (指数表示)

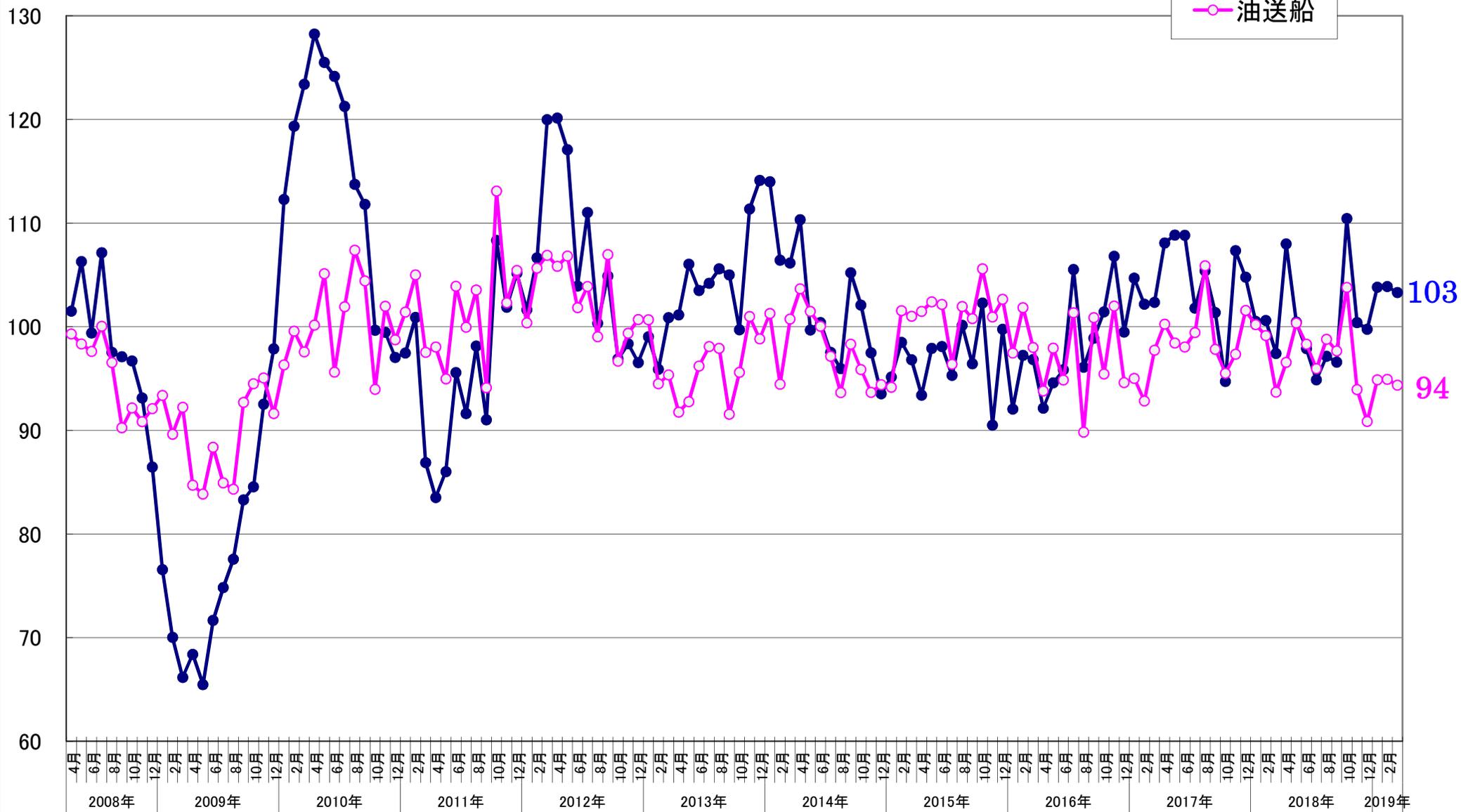
- 貨物船
- 油送船



比率(%)

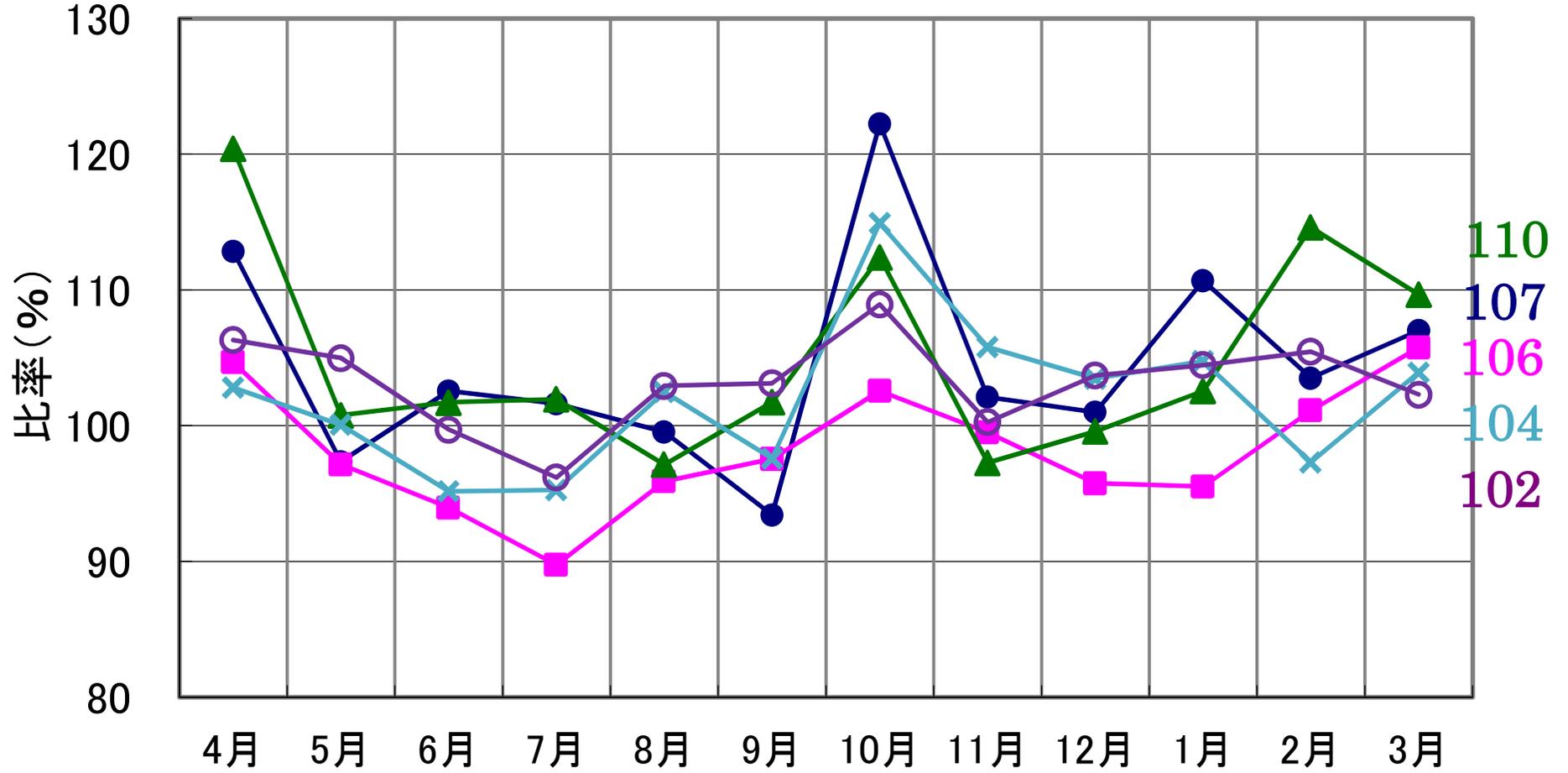
輸送実績の推移<前年同月対比>

- 貨物船
- 油送船



【貨物船】 主要品目の輸送実績の推移<前年同月対比>

● 鉄鋼 ■ 原料 ▲ 雑貨 × 自動車 ○ セメント



2019年3月分

【油送船】 主要品目の輸送実績の推移<前年同月対比>

● 黒油 ■ 白油 ▲ ケミカル × 特タン船

